

## 令和5年度 ハンズオン支援の事例

### 桑名地域

中上に富を招く、特産物の生産・販売の会（東員町）

### 伊賀地域

J Aいがふるさと 苺生産部会（伊賀市・名張市）

# 中上に富を招く、特産物の生産・販売の会（東員町）

中上地区は、少子高齢化に伴う地域住民の減少や新型コロナ感染拡大の影響などから、住民同士のつながりも希薄となり、地域共同体としての機能が弱体化しつつあります。このような状況の中、条件不利農地の耕作放棄などの問題が顕著化してきています。

本プランでは、これまで野菜生産と縁のなかった地域において、「ナバナの生産」における共同活動を通したまちづくりを行い、「住みやすく豊かなまち」を目指して、地域住民の地域貢献意識を醸成することを目的としています。



← ナバナ生産の様子

## スタートアップの取組

現在は、特産品生産の意識を醸成し、地域での取組としていくため、生産者の確保が重要な段階です。生産者確保のためには、実際にナバナ生産に取り掛かるきっかけづくりが必要であると考え、ナバナ収穫・調製を体験するイベントを開催しました。

そのため、会の備品（なばなナイフ）の購入に支援を充てました。なばなナイフは、ナバナの収穫調整に適したものを選定してJAが販売しているもので、ナバナ生産を行う上で重要なものです。



## これからの取組予定

次年度は、収穫体験会に参加した住民に対して更なるアプローチをかけ、実際に栽培につなげます。

また、自治会で管理するほ場を確保したため、自治会管理でナバナ栽培を開始し、様々な企画を施すことで、ナバナ栽培への住民の参画のハードルを下げ、栽培者の確保につなげます。

↑ →  
収穫体験会の様子



↑ 長島にナバナ栽培視察

# J A いがふるさと苺生産部会 (伊賀市・名張市)

J A いがふるさと苺生産部会は、若手部会員の割合が高く、規模拡大に意欲的な産地ですが、地元直売所などへの個別販売が多く地域内流通がほとんどでした。そのため、部会員同士での販売競合の解消が規模拡大に向けた課題となっています。

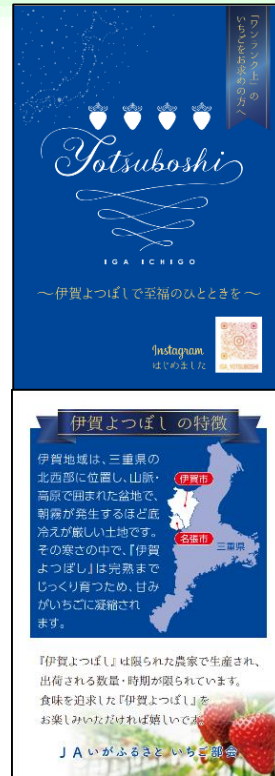
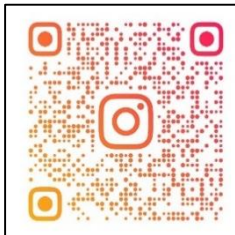
そこで、部会では個別販売ではなく共同販売の拡大を進め、「伊賀よつぼし」のブランド名で県外市場向けの出荷を行うとともに、高品質イチゴのブランド化に取り組んでいます。



## スタートアップの取組

「伊賀よつぼし」ブランドの定着を図るために、店頭で使用できるサイズの販促資材（POP）を制作しました。売り場で注目され、消費者に対して商品PRとなり、購買意欲を高めることを期待しています。

販促資材にはインスタグラムの2次元コード (@iga\_yotsuboshi) を掲載し、産地の最新情報を消費者に発信し、商品に対する理解を深め、地域の魅力を伝えるていきます。



販促資材（POP）デザイン



生産者ほ場巡回



市場との意見交換

## これからの取組予定

①栽培管理の統一に向けて生産者で各ほ場を巡回し、SNSを活用した栽培技術の共有や、新規就農者の支援、部会員同士の交流を促進し、地域全体の技術力向上を図ります。

②県外市場開拓に向けて市場関係者を招待し、品質に関する意見交換を行うことで、県外市場での高品質なイチゴの販売展開を目指します。

## 地域活性化プランに関する問合せ先

問合せ先	電話番号
農林水産部 担い手支援課	059-224-2016

地域機関の窓口	電話番号
桑名農政事務所 農政室 地域農政課	0594-24-7421
四日市農林事務所 農政室 地域農政課	059-352-0629
津農林水産事務所 農政室 地域農政課	059-223-5102
松阪農林事務所 農政室 地域農政課	0598-50-0515
伊勢農林水産事務所 農政室 地域農政課	0596-27-5164
伊賀農林事務所 農政室 地域農政課	0595-24-8108
尾鷲農林水産事務所 農政・農村基盤室 地域農政課	0597-23-3498
熊野農林事務所 農政室 地域農政課	0597-89-6122